

科目名	専門演習 I B	
担当者	藤吉 和史 / FUJIYOSHI, Kazushi	
科目情報	法律 / 必修 / 後期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	刑法総論Ⅱで勉強したテーマについて、さらに理解を深め、現実の裁判で展開される理論を知り、現代社会における刑法の解釈・適用を理解する。発表者は自己の理解を他のメンバーに提示し、全員でディベートをおこなう。
	到達目標	発表者は、例示のテーマから選択・研究したテーマで報告・発表することでプレゼンテーション能力を身につけ、他のゼミ員は、ディベートを通じて論理的な思考力と説得力を養う。
授業計画	発表テーマの例 (1) 原因において自由な行為 (2) 違法性の認識と違法性の錯誤 (3) 実行の着手と不能犯 (4) 障害未遂と中止未遂 (5) 共同正犯の問題点 (6) 共謀共同正犯 (7) 教唆犯と間接正犯 (8) 幫助犯の問題点 (9) 身分犯の共犯 (10) 罪数 (11) 刑の加重と減輕 (12) 施設内処遇 (13) 社会内処遇 (14) 執行猶予 (15) 死刑存廢論	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	テキストとレジュメを復習すること。
使用教材・参考文献	【教】 自分の持っている刑法総論のテキスト 【参】 ポケット六法（有斐閣）、ディリー六法（三省堂）、岩波基本六法（岩波書店）、有斐閣判例六法などのうち、1冊。	
成績評価方法と基準	研究テーマを60%以上理解し、発表を適切におこなったと認められた者を合格とする。最終的にそれをゼミ論文として作成・提出し、合否判定を受ける。	
備考	必ず六法を持参すること。とくに国家試験・公務員試験・資格試験をめざす人は判例六法をお勧めします。	